

～ 桁端挟隘部の電気防食を可能に! ～

GECS 工法とは・・・

Guard of the narrow End of beam of Concrete bridge from Salt damage

～塩害であるコンクリート橋の挟隘端部を守る～



工法内容

今までの橋梁桁端部の塩害劣化補修は、挟隘部の施工となることで、施工が非常に困難でした。また、補修を実施したとしても、数年後には塩害による再劣化の恐れがあり、損傷がさらにひどくなる事例もあります。

そこで、塩害補修に信頼性が高い電気防食工法を施工するにあたり、特殊施工機械の開発を行い、桁と下部工（橋台）との隙間が 12cm 以上あれば電気防食工法によるコンクリートの防食が可能になりました。



ーチタンリボンメッシュ RMVー

用途

- コンクリート構造物の
- ① 塩害対策
 - ② 新設橋への塩害予防

コンクリート橋の延命には「GECS 工法」

Guard of the narrow End of beam of Concrete bridge from Salt damage ～ GECS 工法 ～

■ 施工概要

①挟隘部端部 WJ ハツリ



②挟隘部断面修復



③RMV 陽極設置溝切り



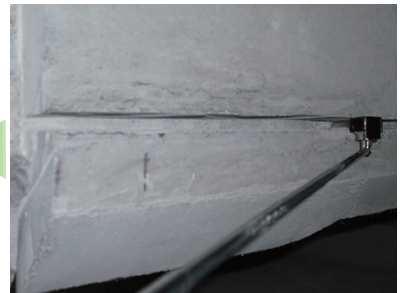
⑥ディストリビュータ設置



⑤RMV 陽極設置



④陽極設置溝内 金属片探査



⑦照合電極設置



⑧ソーラー電源設置



⑨完成



■ 電気防食経過観察

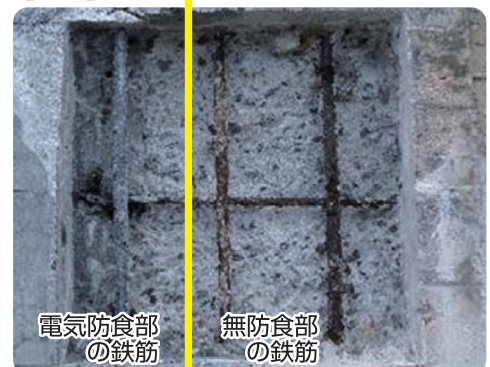


—施工前—



—施工後—

[例]



お問い合わせ先：株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北
〒980-0013 仙台市青葉区花京院 2-1-65 花京院プラザ
TEL：022-713-7277 (代) FAX：022-721-1259
窓口：技術開発営業部 技術開発営業課

共同開発

- ・住友大阪セメント株式会社
- ・株式会社エステック
- ・株式会社ケミカル工事